

(別紙様式22)

廃用症候群に係る評価表

患者氏名	男・女	入院	・	外来
生年月日	年 月 日 (歳)	入院日	年 月 日	
主傷病		廃用症候群の診断日	年 月 日	
要介護度	要介護 ・ 要支援	リハビリテーション起算日	年 月 日	

算定している リハビリテーション料 (該当するものに○)				廃用症候群リハビリテーション料 I ・ II ・ III			
1	廃用を生じる契機となった疾患等						
2	廃用に至った経緯等						
3	手術の有無				有 ・ 無		
	手術名						
	手術年月日				年	月	日
4	治療開始時のADL		BI	点	FIM	点	
	月毎の評価点数 (BI又はFIM どちらかを記入)	月	BI	点	FIM	点	
		月	BI	点	FIM	点	
		月	BI	点	FIM	点	
		月	BI	点	FIM	点	
		月	BI	点	FIM	点	
		月	BI	点	FIM	点	
5	一月当たりの リハビリテーション	実施 日数	日				
		提供 単位数	単位				
6	リハビリテーションの内容			具体的に記載すること			
7	改善に要する見込み期間			<input type="checkbox"/> 2週間以内 <input type="checkbox"/> 2週間から1ヶ月 <input type="checkbox"/> 1ヶ月から3ヶ月 <input type="checkbox"/> 3ヶ月から6ヶ月 <input type="checkbox"/> 6ヶ月以上			
8	前回の評価からの 改善や変化			<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> -1 0 1 2 3 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 悪化 維持 改善大 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">BI・FIMで()点程度の改善</div>			

〔記載上の注意〕

- 「1」の要因については、別紙疾病分類表より疾病コードを記載するとともに、発症時期や治療の有無、治療内容等について記載すること。
- 「2」の廃用に至った経緯等については、「1」の疾患によって安静を余儀なくされた理由、安静の程度、安静期間の長さ等を含めて記載すること。
- 「4」の月毎の評価点数については、直近月からさかのぼり6ヶ月間記載すること。
- 「6」については、筋力、心肺機能、関節拘縮防止、作業療法等の具体的なリハビリテーションの内容について記載すること。

疾病コード (001~119)

疾病分類(ICD-10 第10版 2003年(に準拠))

疾 病 コードと 疾 病 分 類 の 対 応 表

<u>感染症及び寄生虫症</u>	001 腸管感染症	041 屈折及び調節の障害	084 その他の消化器系の疾患
	002 結核	042 その他の眼及び付属器の疾患	<u>皮膚及び皮下組織の疾患</u>
	003 主として性的伝播様式をとる感染症	<u>耳及び乳様突起の疾患</u>	085 皮膚及び皮下組織の感染症
	004 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患		086 皮膚炎及び湿疹
	005 ウイルス肝炎		087 その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	006 その他のウイルス疾患		<u>筋骨格系及び結合組織の疾患</u>
	007 真菌症		088 炎症性多発性関節障害
	008 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症		089 関節症
	009 その他の感染症及び寄生虫症		090 脊椎障害（脊椎症を含む）
<u>新生物</u>	010 胃の悪性新生物		091 椎間板障害
	011 結腸の悪性新生物	<u>循環器系の疾患</u>	092 頸腕症候群
	012 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物		093 腰痛症及び坐骨神経痛
	013 肝及び肝内胆管の悪性新生物		094 その他の脊柱障害
	014 気管、気管支及び肺の悪性新生物		095 肩の傷害＜損傷＞
	015 乳房の悪性新生物		096 骨の密度及び構造の障害
	016 子宮の悪性新生物		097 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	017 悪性リンパ腫		<u>腎尿路生殖器系の疾患</u>
	018 白血病		098 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患
	019 その他の悪性新生物		099 腎不全
	020 良性新生物及びその他の新生物		100 尿路結石症
<u>血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</u>	021 貧血		101 その他の腎尿路系の疾患
	022 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		102 前立腺肥大（症）
			103 その他の男性生殖器の疾患
<u>内分泌、栄養及び代謝疾患</u>	023 甲状腺障害	<u>呼吸器系の疾患</u>	104 月経障害及び閉経周辺期障害
	024 糖尿病		105 乳房及びその他の女性生殖器の疾患
	025 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患		<u>妊娠、分娩及び産じょく</u>
			106 流産
			107 妊娠高血圧症候群
<u>精神及び行動の障害</u>	026 血管性及び詳細不明の認知症		108 単胎自然分娩
	027 精神作用物質使用による精神及び行動の障害		109 その他の妊娠、分娩及び産じょく
	028 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害		<u>周産期に発生した病態</u>
	029 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）		110 妊娠及び胎児発育に関連する障害
	030 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		111 その他の周産期に発生した病態
	031 知的障害＜精神遅滞＞		<u>先天奇形、変形及び染色体異常</u>
	032 その他の精神及び行動の障害		112 心臓の先天奇形
<u>神経系の疾患</u>	033 パーキンソン病		113 その他の先天奇形、変形及び染色体異常
	034 アルツハイマー病	<u>消化器系の疾患</u>	<u>症状、徴候及び異常所見等で他に分類されないもの</u>
	035 てんかん		
	036 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群		<u>損傷、中毒及びその他の外因の影響</u>
	037 自律神経系の障害		115 骨折
	038 その他の神経系の疾患		116 頭蓋内損傷及び内臓の損傷
<u>眼及び付属器の疾患</u>	039 結膜炎		117 熱傷及び腐食
	040 白内障		118 中毒
			119 その他の損傷及びその他の外因の影響